

令和7年度大阪教育大学大学院連合教職実践研究科
(連合教職大学院)
入学願書
(一般選抜)

私は、大阪教育大学のアドミッション・ポリシー（募集要項1頁）を理解したうえでお願いいたします。

該当する募集を ○で囲むこと。	1次募集	2次募集	3次募集	4次募集
パスポート表記英字氏名 (外国人留学生のみ記入)			受験番号	※
フリガナ			性別	生年月日
氏名			男・女	年 月 日生 令和7年4月1日現在()歳
現住所 (合格通知受信場所が異なる場合は、下段に明記すること。)	〒(-) 電話番号(- -) メールアドレス()		希望する コース いずれか一つの□に✓印を付けること。	<input type="checkbox"/> スクールリーダーシップコース <input type="checkbox"/> 援助ニーズ教育実践コース <input type="checkbox"/> 教育実践力コース <input type="checkbox"/> 特別支援教育コース
→	〒(-)			電話番号(- -)
出願資格 (出願資格が大学卒業・卒業見込以外の場合は、備考欄に該当する出願資格を記入すること。)	(国・公・私)立		大学	課程 学部 学科
	昭・平・令 年 月 入学・編入学		昭・平・令 年 月 卒業・卒業見込	※編入学した場合は、編入学前後の両方の学校の成績証明書を提出すること。
取得教員免許状 (取得見込を含む。)	学校	免許状(教科)	昭・平・令 年 月取得(見込)	
	学校	免許状(教科)	昭・平・令 年 月取得(見込)	
	学校	免許状(教科)	昭・平・令 年 月取得(見込)	
	幼稚園	免許状	昭・平・令 年 月取得(見込)	
	養護教諭	免許状	昭・平・令 年 月取得(見込)	
	特別支援学校教諭	免許状	昭・平・令 年 月取得(見込)	
該当者は○を付けること。	<input type="checkbox"/> 長期履修学生制度申請者			
勤務先名	年 月 ~ 現在		(常勤教諭・常勤講師・非常勤講師) 職位()	
勤務先所在地	〒(-)		電話番号(- -) 最寄駅(線 駅)	
備考				

(注) 【記入上の注意】を必ず読んで記入すること。※印欄は、記入しないこと。

学歴 (卒業見込みを含む。)	在学期間		出身校
	年	月～	年 月
	年	月～	年 月
	年	月～	年 月
	年	月～	年 月
	年	月～	年 月
職歴 ※教職経験年数に算入する職歴は在職期間に○を付けること。	在職期間		勤務先・職種(職名)等
		年 月～	年 月 (常勤教諭・常勤講師・非常勤講師)
		年 月～	年 月 (常勤教諭・常勤講師・非常勤講師)
		年 月～	年 月 (常勤教諭・常勤講師・非常勤講師)
		年 月～	年 月 (常勤教諭・常勤講師・非常勤講師)
		年 月～	年 月 (常勤教諭・常勤講師・非常勤講師)
		年 月～	年 月 (常勤教諭・常勤講師・非常勤講師)
		現在の勤務先 年 月～ 現在	(常勤教諭・常勤講師・非常勤講師)
教職経験年数		年 月	現職教員等(記入上の注意<職歴欄について>3参照)の年数 (令和7年4月1日現在)
入学後の勤務について (現に職を有する者のみ該当するものに○を付けること。)		勤務時間外に通学する予定	
		大学院修学休業制度を利用する予定	
		教育委員会等から研修のため派遣されて入学する予定(機関名:)	
		退職予定	
		その他(詳細を記載:)	
【記入上の注意】			
<p>1. 大学への氏名の登録は願書に記入した氏名で行われるため、間違いのないように記入すること。</p> <p>2. 出願資格が大学卒業以外の場合は、備考欄に該当する出願資格を記入すること。</p> <p><学歴欄について></p> <p>1. 学歴は高等学校以降について記入すること。(記入例: ○○県立○○高等学校) 外国人留学生は、初等教育(小学校)、中等教育(中学校・高等学校・中等教育学校)、高等学校(大学・大学院)において在籍したすべての学校を記入すること。また、大学等での研究生等として在籍した期間についても記入すること。</p> <p><職歴欄について></p> <p>1. 勤務先・職種(職名)は具体的に記入すること。常勤講師等で任期付きの場合は“任期付き”と明記すること。また、()内の(常勤教諭・常勤講師・非常勤講師)の別について該当するものを○で囲むこと。 (記入例: ○○市立○○小学校教諭、○○府立○○高等学校任期付き常勤講師、○○株式会社○○係長)</p> <p>2. 記入欄が不足する場合は、任意の用紙(A4判)に記入すること。</p> <p>3. 教職経験年数に算入する職歴は、現職教員等(募集人員に関する表(募集要項2頁)の注2参照)に該当するものに○を付けること。また、「教職経験年数欄」は次のことに留意して記入すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 退職期間(育児休業、国際派遣等の期間を含む。)は教職経験年数に算入しないこと。 ・ 職歴で1か月未満となる期間がある場合は、1か月として算出すること。 ・ 現在勤務している職については、令和7年4月1日以降も在職予定の場合、令和7年3月の月数まで算入すること。令和7年3月31日以前に退職予定の場合は、退職予定月まで算入すること。 			